

仁木 恒夫
法学研究科・教授

【研究】

2024年度はおもに以下の研究を進めた。

第一に、司法制度改革以降、大きく変化してきた司法書士の業務の特徴を、論文「司法書士の可能性をめぐって」にまとめ、それをもとに2025年3月1日の全青司とやま大会での講演・パネルディスカッションで参加した。

第二に、科学研究費補助金の助成を受けて実施している共同研究「コンタクト・ゾーンの紛争処理」の成果の一部を、次年度の日本法社会学会でのミニ・シンポジウムとして発表する準備を行った。

第三に、近く公刊される書籍に掲載される予定の、法社会学の質的研究における言説分析についての論文を作成した。

【教育】

大阪大学の担当授業のほか、甲南大学で「法社会学」、京都大学で「交渉術」の非常勤を担当した。

【管理運営】

資料室長の業務を行った。

図書館委員、総合図書館運営委員、総合学術博物館兼任教員、豊中地区事業場安全衛生委員会委員の業務を行った。

【社会貢献】

学外委員として、簡易裁判所判事推薦委員、日本法社会学会理事、奈良県建設工事入札参加停止審査会委員、奈良県入札監視委員会委員、奈良県建設工事紛争審査会委員、Nexco 西日本入札監視委員会委員などを担当した。